

【第12期常任理事会第1回会議議事録】(抄)

日時 2021年7月30日(金) 09:00-13:15

場所 Webex オンライン会議

出席：赤松美和子、家永真幸、大東和重、川上桃子、洪郁如、富田哲、福田円、松金公正、山崎直也(以上、常任理事)北波道子(副理事長)、松田康博(理事長)。

五十嵐隆幸(第23回学術大会会計担当)

欠席：上水流久彦、菅野敦志

主宰：松田康博(理事長)

書記：五十嵐隆幸(幹事)

報告

1. 理事長・事務局

(1) 松田理事長

特になし。

(2) 川上事務局担当理事

特になし。

2. 各業務担当

(1) 川上総務担当理事

入会申請書の性別欄を無くすことで準備を進めている。

(2) 山崎会計財務担当理事

配付資料にもとづき、第12期第1回理事会(2021年5月22日)後の主な支払いについて報告がなされた。なお、現在、学会費のクレジットカード払いについて検討を進めている。

(3) 福田広報担当理事

配付資料にもとづき、学会ホームページ、学会ブログ、メーリングリスト登録状況、サーバーの契約更新等の運用状況について報告がなされた。

(4) 赤松ニュースレター担当理事

今秋発行予定のニュースレター第41号の編集状況について報告がなされた。特集記事の第23回学術大会成果報告については、原稿がほぼ届き、まもなく編集作業を本格化する。

(5) 松金編集委員長

発行準備中の『日本台湾学会報』第23号において、誤りが見つかった。修正について正誤表を出し、PDF化の際には修正してHPに掲載する。

(6) 富田企画委員長

配付資料にもとづき、第23回学術大会について報告がなされた。

(7) 菅野・洪国際交流担当理事

配布資料にもとづき、対外発信プロジェクト（優秀学会賞論文の英訳支援）、IJTS への書評推薦など、国際交流担当事業について報告がなされた。

（８）洪文献目録担当理事

戦後日本における台湾関係文献目録について報告がなされた。今後について、引き続き、日本台湾交流協会と話し合う予定である。

3. その他

特になし。

議題

1. 第 23 回学術大会について（松田第 23 回学術大会実行委員長）

第 23 回学術大会（オンライン：2021 年 5 月 29 日、30 日）について報告がなされた。

2. 第 23 回学術大会決算報告（五十嵐第 23 回学術大会会計担当）

配布資料にもとづき、第 23 回学術大会決算報告がなされ、決算案は承認された。

3. 第 23 回学術大会シンポジウムについて（山崎第 23 回学術大会シンポジウム担当）

第 23 回学術大会のシンポジウムについて、大会後の動画公開を含めて報告がなされた。

4. 第 24 回学術大会について（福田第 24 回学術大会実行委員長）

第 24 回学術大会の開催について、今後の流れに関する確認がなされた。日程については、2022 年 5 月 28 日（土）、29 日（日）とし、開催方式は引き続き検討していく。

5. 第 24 回学術大会分科会企画・自由論題報告の募集要領について（冨田企画委員長）

配布資料にもとづき、第 24 回学術大会分科会企画・自由論題報告の募集要領について審議し、今後の流れに関する確認がなされた。

6. 『日本台湾学会報』第 24 号の投稿および原稿執筆要領等について（松金編集委員長）

配布資料にもとづき、学会報への投稿要領等について審議がなされた。レフェリーのコメントについて、現行の日本語および中国語以外に英語を認めることで承認された。

7. 『日本台湾学会報』の J-Stage 登載について（松金編集委員長）

将来的な J-Stage 掲載を見込み、その利用資格で示された査読規定などの検討を進める。

8. 学会ウェブサイトの改革について（福田広報担当理事）

学会ウェブサイトのリニューアル案に関して、現状の検討状況について説明がなされた。現

行のウェブサイトの更新には習熟が必要な状態であるため、担当者が変わっても負担なく更新が続けられるように改善することで合意がなされた。また、今年度中にウェブサイトの改革を進めるための予算措置の必要性について合意した。

9. 学会ロゴマークの作成について（赤松特命担当理事）

配布資料にもとづき、現在の検討状況について報告がなされた。また、今後の流れについて確認がなされた。

10. 会員の入退会について（川上総務担当理事）

入会申請 5 件、シニア会員への移行 1 件が承認された。

11. 次回常任理事会の日程について（川上総務担当理事）

ワークライフバランスを考慮し、12月の週末以外（金曜日等）での実施を追求する。

以上